



企画・制作:山梨日日新聞社広告局

富士観光開発株式会社は1959（昭和34）年6月1日の創業から60周年を迎えた。「自然と人間との調和」「地域住民との密接な連携」「個人の尊重」などを企業理念とし、富士の雄大な自然の下、富士レイクサイドカントリー倶楽部や富士桜カントリー倶楽部運営などのゴルフ事業と、富士すばるランド、ふじてんリゾート運営や富士桜高原麦酒醸造などのレジャー事業、富士桜高原別荘地や甲府リバーサイドタウンなどの不動産事業、さらにはOA機器の営業販売やLPガス配送などを行う生活流通事業を核に展開している。時代を追うごとに多様化する社会のニーズを敏感に捉え、的確なサービスや商品を生み出すことで、人々に安らぎの場を提供している。一企業としての経済活動だけでなく、観光産業を基盤とする地域振興の一端も担っている。富士山というかけがえのない自然との共存を目指しながら、真の「心の豊かさ」とは何かを追求し続けている。

## 富士観光開発株式会社

住所 富士河口湖町船津3633-1  
TEL 0555-72-1188  
FAX 0555-72-3403  
URL https://www.fujikanko.co.jp/  
事業内容 富士レイクサイドカントリー倶楽部、富士桜カントリー倶楽部、敷島カントリー倶楽部、富士すばるランド、地ビールレストラン・シルバンズ、富士緑の休暇村、富士眺望の湯ゆらり、ふじてんリゾート、ふじざくらイン、富士桜高原別荘地、甲府リバーサイドタウン、生活設備部、事務用品部ほか

# 自然と共存 多角的な事業展開で60年

## 富士山の裾野に水脈発見 レジャー施設次々とオープン

1959年に創業した同社の歴史は、それまで水源のなかった富士の裾野に水脈を発見したことから始まる。溶岩を多く含んだ土壌は水を通しやすく、地表にたまることがない。当時の地域住民にとって水を得ることは長年の悲願だった。各界の名士の賛同もあり、同社は約2年の歳月を経て水脈を発見。地域への水の供給を始めた。

時代は高度経済成長に伴うレジャーブーム。同社は1960年に富士桜高原別荘地の分譲と、県内初の会員制コース「富士レイクサイドカントリー倶楽部」の営業を始めた。以降、富士スバルランド（現在の富士すばるランド）や総合スポーツレクリエーション施設「富士緑の休暇村」、富士天神山スキー場（現在のふじてんリゾート）などを次々とオープンした。富士スバルランド内にはかつてスケートリンクがあり、小学校のスケート教室にも利用されるなど、大勢の人が滑りを楽しんだ。また、日本屈指の男子プロゴルフトーナメント「フジサンケイクラシック」の会場として知られる富士桜カントリー倶楽部の経営もしている。

## 地ビールが看板商品に 女子サッカーチームも始動

同社は富士北麓だけでなく、他地域でも事業を展開している。76年に甲府リバーサイドタウン宅地分譲を開始し、77年に敷島カントリー倶楽部を開場した。87年には現在の中央市に大型ショッピングセンターが入居する富士観ビルⅠが落成した。

90年代以降、レジャーは団体旅行よりも個人旅行が主流となり、日帰り温泉やご当地グルメなどに人気が集まるようになった。97年に富士緑の休暇村で温泉が湧出した同社は、富士山の絶景を楽しめる日帰り温泉「富士眺望の湯ゆらり」の営業をスタート。同じ年に地ビール「富士桜高原麦酒」の醸造を始め、翌年には醸造所と一体型の地ビールレストラン・シルバンズをオープンした。富士桜高原麦酒は、本場ドイツ仕込みの技術をベースに、厳選された材料と富士山麓の自社水源から湧出する「ふじざくら命水」を使用。世界大会「ワールドピアカップ」で金賞を受賞するなど数々のコンテストで高い評価を受け、同社の看板商品となっている。

富士すばるランドは、90年代後半に犬との触れ合いが楽しめる「ドギーパーク」をオープンし、近年は、自然体験基地「どんぐりコース」や立体迷路、バーベキューテラス、日本初大陸のアトラクション「ロールグライダー〜ポップルのスカイウォーク」を順次開設するなど、自然の中で体を動かす新しいレジャースタイルを提案している。2016年には精進湖近くに「CAMP AKAIKE」を開業。手間を掛けずに豪華で快適



ゴルフ、レジャー、不動産、生活流通まで多彩な事業を展開し、常に時代の一步先を見据えている

なキャンプが楽しめる「グランピング」も体験できる。

同社は、増え続けるインバウンド（訪日外国人旅行者）への対応も進めている。リーズナブルな価格で宿泊できる「ふじざくらイン」をオープンしたほか、地ビールレストラン・シルバンズでは、イスラム教徒（ムスリム）向けに、戒律に従った「ハラール」対応食材のバーベキューをメニューに加えた。ふじてんリゾート内にはイスラム教の礼拝スペースも設けている。

そして60周年を迎えるに当たり、「地元を活気づけたい」（同社）と昨年11月20日の県民の日に立ち上げたのが、一般社団法人ふじざくらスポーツクラブだ。今年3月には女子サッカーチーム「FCふじざくら」が始動し、県内初のものでシリーグ1部参入を目指して練習に励んでいる。また、全国487件の応募の中から選ばれた60周年記念キャラクター「ふじっぴ」が、公式ツイッターやインスタグラムで富士北麓の魅力や同社の事業を紹介している。

ゴルフ事業、レジャー事業、不動産事業と並んで同社の柱



60周年を機に誕生した「FCふじざくら」。県内初のものでシリーグ1部参入を目指す

となっているのが生活流通事業だ。OA機器やオフィスファニチャーの販売、ガス関連設備の施工管理や自動車整備など、実用的な面から地域をサポートしている。

富士の魅力をより多くの人に伝えたい。60周年を迎えた今もその思いは変わらない。同社はさまざまなアイデアで地元とともに成長を続けていく。

人の皆さまに応援してもらい、チームを始動することができました。地域が一つになるようなサポートをするのも地域への恩返しと思っています。選手の思いや希望がそのまま届くことが希望になるようなチームになってほしいです。また社員にも連帯意識を持って応援してほしいと考えます。

— 会社の今後の目標は。

一つの指標は100億円企業を目指すことですが、それ以上に大切なのは、社員が共に過ごす時間を心豊かなものにしてもらいたいということです。私たちサービス業は一つ一つプロジェクトがあるものではないので、社員は達成感を得られにくい部分があると思います。ですが、例えばお客さまに喜んでいただいたり、同じことで社員みんなが喜んでいたりして幸せを感じられる、温かい会社になりたいです。それが結果として売りに上げにつながれば良いと思います。



代表取締役社長 志村和也氏

五つの経営理念の下、同じ目標に向かって努力する団結力や社員の和を大切にしています。また、社長室に掲げている「正しく強く」の言葉も経営哲学に多大な影響を与えています。この書は、時代劇「水戸黄門」大岡越前「のタイトル」でも知られる、円覚寺（鎌倉市）の故朝比奈宗源管長に小学生のころ書いていただいた宝物です。正しいとは何か、強いとは何か。簡単なようで難しい言葉ですが、一つ言えるのは、誰にも恥ずかしくない仕事をする。社員にもそうあってほしいと思います。

— 女子サッカーチーム「FCふじざくら」に期待することは。

— 取引業者をはじめ多くの会社や個人に期待することは。

### 代表取締役社長 志村和也氏

## 人の和心の豊かさ重視

創業家に生まれ、大学卒業後に渡米。帰国後に入社し1994年、4代目社長に就任。時代の一步先を見据えた事業展開に取り組み志村和也代表取締役社長に、経営方針などを聞いた。

— 60周年を迎えた心境は。

私は今年で58歳になるので、会社の歩みが自分の人生と重なり、感慨深いものがあります。祖父や父母が働く姿を見て育ち、大変なときも楽しかったときも会社が家族のように近い存在でした。大勢のお客さまと取引先。そして社員たちのおかげで、当社がここまで成長してこれたことに感謝しています。

— 経営方針は。

### 沿革

1959年6月	会社設立
60年4月	富士桜高原別荘地分譲開始
11月	富士レイクサイドカントリー倶楽部営業開始
62年6月	別荘および周辺地域にフロパングス供給開始
65年2月	観光バス/富士観光トラベルサービス営業開始
68年5月	富士スバルランド森林公園オープン
72年10月	富士緑の休暇村営業開始
75年10月	富士桜カントリー倶楽部営業開始
76年4月	事務機器営業開始
10月	富士観保険サービス株式会社営業開始
11月	甲府リバーサイドタウン宅地分譲開始
77年10月	敷島カントリー倶楽部営業開始
86年12月	富士天神山スキー場（現在のふじてんリゾート）営業開始
97年12月	富士眺望の湯ゆらり営業開始
	富士桜高原麦酒醸造開始
98年4月	地ビールレストラン・シルバンズ営業開始
2013年4月	富士投命水株式会社営業開始
16年3月	Beer Bar富士桜Roppongi営業開始
7月	ふじざくらイン営業開始